

平成27年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
研究進捗評価 現地調査報告書

課題番号	26000013	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	脊椎動物の季節感知システムの設計原理の解明とその応用		
研究代表者名 (所属・職)	吉村 崇 (名古屋大学 生命農学研究科 教授)		

評価コメント
<p>本研究では、脊椎動物の季節感知システムの設計原理の解明を目指し、マウス、ウズラ、メダカを用いた実験系が遂行されている。平成26年度の研究開始以来、研究代表者を中心にマウスの下垂体隆起葉由来の甲状腺刺激ホルモン制御系に関する成果 (Cell Report、2014)、ウズラの光感受性細胞に関する成果 (Current Biology、2014)が上げられており、順調に進行している。また、日本各地より採集した様々な日長・温度応答メダカのトランスクリプトーム解析により、春を感知する遺伝子候補が探索され、さらには、鳥類のさえずりを指標にした季節感知機構も解明されようとしている。これらが、名古屋大学（トランスフォーマティブ生命分子研究所及び大学院生命農学研究科）及び基礎生物学研究所（季節生物学研究部門）の生理学、計算科学、有機化学の研究チームと有機的に連携されている。購入された研究機器は、現地調査時に新たな建物に搬入され使用される予定であったが、新棟の諸事情で搬入が一時中断されており、機器の稼働状況を直接確認することはできなかった。しかし、写真を用い、納品された機器類の説明や、新たな設置場所が大学内で確保できるとの説明も受け、今後の研究遂行には問題ないと判断した。</p> <p>平成30年度の研究終了時までには、季節感知システムの設計原理に関する十分な研究成果を得ることが期待される。</p>